

2018年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2019年3月17日
発行人 日本基督教団 関東教区
埼玉地区委員会
委員長 川 柴 三 郎
鴻巣市東1-1-27
http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/
印刷所 (株)シャローム印刷

埼玉地区三区の新年合同礼拝

十一区 神ともにあります 怖れ多い場所

久美愛教会 鈴木 佳子

今年の新年合同礼拝は、一月十四日に最寄区単位で開催。越谷教会を会場に、一区二十二教会と区外一教会、一二七人が受付記録上の数となった。用意された席はすぐに満杯になり、補助席が追加され、次回二年後の開催の折には対策が必要との喜ばしい懸念も聞かれた。

会場は、礼拝堂よりも広く、大きな集会の可能な幼稚園舎のエントランスホール、二階吹き抜けの階段を上った所にリードオルガンが設置され、前奏が会衆の頭上から流れてくる。明るい光が差し込む会場は、越谷教会員によって説教台、聖餐テーブル、椅子、花などが運び込まれ、見る見る荘厳な会堂に変わる。教会とは、建物ではなく、信仰者が集う所との思いをひしひし感じる。大勢のクリスチャンが年初に共に集う幸いを深く感謝する。急な事情で司式者の変更が告げられたが、さすが何事もなかったかのように落ち着いた礼拝式が進む。「心を高くあげよ」の賛美が、天上の高い今回の会場に相応し

い。

創世記二十八章、ヨハネ福音書一章が朗読され、子どもの説教は、小さなお友達に囲まれて、久保島理恵牧師(東大宮)の暖かい語り、ヤコブのちよつと辛い旅に感じ入った。そしていつも共に居て下さる神を賛美。



熊江秀一牧師(大宮)の『ヤコブの夢』の説教を頂く。

「ここはなんと畏れ多い場所。これはまさしく神の家である」。枕にした石を記念として建てるヤコブの姿に神が私たちと共におられ、歩む道を守り、無事に帰らせてくださると力強く確信し、主よ終りまで僕としてあなたに仕えますと賛美した。

小林眞牧師(岩槻)司式により聖餐に与る。新成人祝福が高田輝樹牧師より祈られた。

十二区 一つの群れになる

越生教会 江田めぐみ

埼玉和光教会に、最寄り二区の十九教会・伝道所と他一区より一九名が集められて新年合同礼拝が守られました。

説教は、子ども向けと全体向けに語られ、どちらも同じ聖書箇所(ヨハネ十章七〜十八節)が用いられました。子どもの説教は、坂戸いずみ教会子どもチャペルのスタッフによる「よき羊飼い」の聖書劇が、会場全体を使って演じられ、羊がいる所に狼が後ろの扉から突然飛び出してくる



たね

身近な教会の話をしようにと思う。二〇一八年度が始まろうとするとき私自身としては四度目の無牧の時代を迎えた。この発端は一昨年九月の教会総会で牧師が辞任することを承認したことで始まった。あれから長老方の苦闘が始まった。無牧の時期、当然代務者を立て、毎週の説教者の依頼、聖礼典や祈祷会、週報作成、週日教会堂の管理、郵便物の処理、葬儀は、結婚式は、幼稚園の園長はどうする?色々と課題が山積する。しかも適切に処理せねばならぬ。そして更に重要なことは新任の教師を探さねばならない。何れの教師不在の時も大変な苦労があったことと察しがつくが、今回の場合、特に衝撃が強かった。そんな中、私が特に感じたことは、このような課題を担っていかれることがどんなに辛いことか、ということであった。招聘制度の持つ課題はあると思うが、そんな中で最善を尽くして、新任教師を迎えることができ、新年度に進んで行ける幸いを感謝したいと思う。(金刺泰雄)

場面や羊飼いが羊を数えて、一匹から九十九匹まで数え、最後の「一匹を捜す」という場面では、見ている方々からも、随所で笑い声が上り、また、それを見ている大人も子どもたちも、演じている皆さんも会場が一つになつてとても微笑ましいものでした。

全体向け説教は、岩河敏宏牧師（埼玉和光）が、「一つの群れになる」ということで私たちがはどのように養われようとしているのか。聖書には、私たちが羊にたとえている。旧約聖書、詩編一〇〇編三節、詩編一九編一七六節、イザヤ書五十三章六節のモチーフがベースとなつて今日の聖書の箇所につながっている。また、ヨハネでは「命を捨てる」、「良い羊飼いである」ということを中心にお話くださり、「イエスさまは唯一の羊飼いである。私たちの命が豊かにされるために自分の命を捨ててもそのことをされる方である。」そして、良い羊飼いの具体的なことを説教くださいました。

また、聖餐式の恵みも頂き、礼拝後は、愛餐会でおむすびとお茶菓子を頂き、主にある温かい交流を持つことができました。会場教会においては様々な



ご配慮をしてくださいます、ありがとうございます。

十三区

「復活の主」より頼みつつ」

深谷教会 法凡聖親

北本教会で三区新年合同礼拝が開催されました。午前十時三十分の礼拝において、説教者の阿部洋治牧師（北本）より「自分たちの教会は、高齢化が進み、伝道を押し進めてゆくことに限界を感じる、との声を多く聞くが、伝道は自分たちの力で行うものではなく、死の力をもち打ち破る復活の主により頼み行うものである。」との力強い説教をいただき、出席者一同大いに力づけられました。また、子ども向け説教は、山

野裕子牧師（久喜復活）が担当され、お二人の先生方の説教を通して、新しい一年を希望と喜びを持って歩み出す恵みと子供たちと共に分かち合うことができました。この日は成人の日であり、成人祝福祈祷の用意をしておりましたが、今年は該当者がおられませんでした。



礼拝後は、三羽善次牧師ご夫妻（和戸）の名司会で昼食をとりながら、各教会ごとに紹介をし合い、聖書クイズなどもあり正解すると豪華な賞品がもらえる、とても和やかな楽しい交わりの一時を持ちました。今年も新年合同礼拝を通して三区の十五教会の連帯を深めることができました。行き届いた準備をして、私たちを迎えて下さった北本教会

の皆さま、本当にありがとうございました。参加者は、七十六名（含子ども二人・十五教会）でした。

伝道と賛美の集い

十一月十八日（日）午後二時から加須教会にて「伝道と賛美の集い」が開催されました。大坪園子先生（熊谷）が、私たちに馴染み深い讃美歌やワースリップソング、唱歌やポピュラーソング等を、心を込めて賛美してくださいました。

賛美の歌声を通し、私たちが一人ひとりの存在が、神によって宝物として造られ、無条件で愛されている存在であるという恵みに、改めて立ち帰らされ、慰めと励ましと勇気をいただくことができました。

神の愛の香りが満ちる中、舟生康雄先生（加須）がヨハネによる福音書三章十六節から説教してくださいました。私たちが罪から救うため、独り子である主イエスを、惜しむことなく与えてくださる父なる神は、どんなことがあっても私たちのしんがりとなって、私たちを決してお見捨てにならない愛の方であることを、お語りくださ

いました。集いには、新来会者の方も来られました。ある方は「仕事で心が荒んでいたけれど、賛美の歌声によって、その心が溶かされて、涙が溢れました」と話しておられました。

この埼玉の地に、道であり、真理であり、命である救い主に出会いたい方、切実に救いを求めている方が、思う以上に多くいらっしやることを知りました。そのような方々に福音を宣べ伝えて行くために、「伝道と賛美の集い」が、今後も埼玉地区の教会で用いられるようにと強く思います。



最後に、今回の「伝道と賛美の集い」のために献身的に奉仕してくださいました委員の先生方、兄弟姉の方々の貴いお働きに心から感謝いたします。

※参加者五十八名・九教会
（伝道委員会）

KK S秋冬フェスタ

本庄教会 正田 義也

当初九月三十日に予定され、台風の影響で延期となつて「KK Sフェスタ」が、十二月三十日(日)、大宮教会に於いて行われました。例年八月のKK Sキャンプ直後の九月開催でしたが、今回は間が空き、年末なので参加者の集まりが心配されました。



しかし、当日は十一教会から三十四名が参加し、小学校高学年から、社会人までと、主の恵みのもとで、若い世代が自由に遊び、語り合う、豊かな交流の時となりました。
午後三時半の開会礼拝は、讃美歌21の二七二番『喜びは胸に』を賛美し、ルカ福音書二章、天使が羊飼いにメシア誕生を告げる場面から共に御言葉に聞きました。

礼拝後は集居室で円を作つて座り交流タイムを持ちました。一人ずつ、全員が自己紹介

と、今年一番嬉しかった事と、新年の抱負を共有しました。それぞれの近況を知り、進学や就職活動など、環境の変化を迎える方々の期待や不安も分かち合えたひと時でした。

交流後、二組に分かれて、八月キャンプの感想文集製本と、夕食のカレー作りを参加者全員で協力して行いました。

最後に、美味しいカレーを食べながら、八月キャンプの思い出をスライド写真で振り返り、閉会祈祷で閉じました。



印象的だったのは、特にレク・ゲーム等を準備しなくても、自由に遊びや話題を見つけて楽しく交流する参加者の姿でした。埼玉地区の教会に、またキャンプに、若い世代の交流の場所があることの喜びを感じました。来年度、八月中旬のキャンプに奮ってご参加下さい！

CS教師研修会

大宮教会 高橋 真之

埼玉地区のCS教師研修会が、一月二十六日(土)に大宮教会にて開催されました。

今回は新居浜教会の広瀬香織牧師をお迎えして、「教会をこどもの居場所」というテーマでお話していただきました。



講演の内容は、広瀬先生の子ども食堂の体験を元に、どのように教会がこどもたちの居場所となるか、ということがメインでした。ところで私たちは、おそらく多くの者が「教会をこどもの居場所に」ということを考えているだろうと思えます。しかし、その「居場所」とはどういう場のことなのか、としないのが実情ではないでしょうか。

広瀬先生は、講演の中で居場所とは、欲求を満たす場所であると定義してくださいました。

私たちは欲求と聞くと何かマインナスイメージを持ちますが、ここで言われている欲求とは、人が人として生きていくために必要な求めのことです。この欲求には段階があり、一つ一つ下位の欲求を満たしていくことで、最も高等な欲求である「自己実現(自分が自分らしく生きること)の欲求」を満たすことが出来るのです。これは逆を言えば、居場所なくして人は自分らしく生きることが出来ないということです。



しかし広瀬先生は、教会こそがその居場所になることが出来ることを力強くお話ししてくださいました。教会はこどもの大切な居場所になることが出来るのです。これは私たちが絶えず覚えておきたいことではないでしょうか。

信教の自由と平和を

求める2・11集会

川口教会 本間 一秀

二月十一日(月休) 午前十時より大宮教会を会場に、日本同盟教団横浜上野町教会の柴田智悦牧師を講師に「天皇の生前退位と私たちの信仰」との講演から聞いた。「天皇代替り儀式」について、一即位の礼とは、天皇即位を内外に示す一連の儀式。二三剣璽等承継の儀とは、三種の神器等を承継する天皇の皇室祭祀権を世襲する儀式。三、即位礼正殿の儀とは、天皇が高御座に立ち即位を宣言する儀式。天皇が「我が国を統治する」「世界に君臨する」「天使である」ということを意味し、神話に基づいた宗教性を持つ。四、大嘗祭とは現人神を生み出す宮中祭祀の中心的宗教儀式であり皇室の儀式である。「憲法」の立場ではこうした儀式は天皇を神格化することで国費を充てることは政教分離違反、信教の自由を侵害している。「信仰」から「唯一の神」を信じる、十戒に反する行為であると結論された。「天皇制」について学びを深めなければならぬと自戒させて頂いた講演会であった。(社会委員会)

特集

「今・そして課題と展望」について地区内諸教会・伝道所がお互いを身近に覚えあう一助になる事を願い、今年度も引き続き「特集」のページを設けました。

十岩槻教会の課題と展望

岩槻教会 小林 眞

右の表題は、今、当教会の責任を負っている牧師として感じていることなどをストレートに書くことは無理でありますので、岩槻教会の幼稚園でのことを一言だけ書いてみたいと思います。

私は、岩槻教会に来てしばらくしてから、園長の責任を持つことになりましたが、園内では私のことを「園長先生」とは呼ばず、「牧師先生」と呼んでください」とお願いし、このことを今でも徹底させています。その理由は、卒園した子どもたちは、それ以後「牧師」という存在に触れずに生活することが多く、「牧師」という言葉を用いることがほとんどなくなるのです。

つまり、「牧師」という言葉を忘れてしまうような環境で生活することになります。

しかし、幼稚園で過ごした何か年の間、子どもたちが「牧師先生」と呼び、言い続けているのと、この言葉が必ず頭のどこかの隅に必ず残るだろうと思います。



教会に連なる幼稚園の子どもたちが、世の中での様々な経験をするとき、何かの折に幼稚園時代を思い起こし「牧師先生」という言葉を通して「教会」に繋がる機会が与えられることが、教会の祈りであり願ひでもあります。

十飯能教会の課題と展望

飯能教会 木村 光寿

二〇一七年四月に私が着任し、新しい歩みが主によって導かれております。

この教会では、春季と秋季において、毎週金曜日の夜七時から「うたいましょう」奏でま

しょう♪さんびか」という会を開いており、讃美歌を歌い、そして、トーンチャイムを演奏いたします。

この会は信徒のみではなく、地域にも開かれており、教会員以外の方も出席されております。平均十一名前後ですが、練習の後、お茶をしながら雑談をし、良い交わりの時が与えられております。

この会は十四年間で、継続して開かれていますが、この間に多くの受洗者や献身者が与えられました。主を賛美する歌を歌うことで、主の福音が告げ知らされることを実感しております。これからも、地域の人々に御言葉を伝える使命を果たしていきたいと願っております。



飯能教会も他の教会と同様に高齢化が進んでおります。そのため、愛する者がみもとに召されたり、また、自らの死につ

いて問わざるを得ない状況に直面されている方もおります。そのため、「悲しみに向き合って生きる」と題し、悲しみとどのように向き合えばよいのか、また、どのように悲しむ者に寄り添うことが出来るのかについて連載しております。この連載を通して、苦しみ悲しむ者に、主の慰めと平安が与えられますように、また、悲哀を抱え歩む者に寄り添うことが出来ますように、そのように祈りつつ、この連載を続けていきたいと思っております。

十本庄旭教会の課題と展望

本庄旭教会 柳瀬 聡

本庄旭教会に主任教師として仕えて一年半、急逝された西上牧師や代務の先生方を含め、この十年で牧師は五回交代。その間、一階トイレの腐朽は進み、床が抜け落ちました。着任時の改修案で協力金申請後に排水管の漏水修理も不可欠と判明し、一部作業を自前で凌いで費用を削減、予算内での改修が適いました。感謝。

礼拝堂のある建物の二階は清潔に保たれ、温かい信仰の交わりが育まれています。昨年六月上旬エアコンが突然故障、緊急援助基金によって夏前に対

処できました。動力電源から家庭用電源の機種に転換し、動力契約解約による節約で、完済を試みるも難しい様です。全般的に厳しい予算状況の中、難しいお願いで役員各位に御苦勞をかけ、深くお詫びします。それでも、十年ぶり？の床面ワックスがけとトイレ補修を機に、建物全般への修理機運は高まり感謝しております。



共に歩む旭保育園は幸い地域の信頼厚く、感謝致します。社会が縮小し、市街地にも空き家の目立つ時世、一階旧牧師館は保育への貢献や地域への伝道的活用を目指す方針とし、旧牧師室も書類整理を始めます。当教会の身の丈に適う業は細やかでも、主なる神様の愛に適えば必ず人の心に響くでしょう。創立百年を迎える当教会の歩みに、主なる神の愛が宿るようお祈りください。

地区委員会報告

二〇一八年度第五回委員会
日時 十一月十六日(金)
会場 埼玉新生教会
出席 十一人
主な報告
●地区内の教会・教師の報告
◎辞任(三月)
・上尾合同(代) 木村太郎(正)
・越生 江田めぐみ(正)
◎就任(四月)
・上尾合同 武田真治(正)
●会計報告
十一月十六日から十一月十七日分
●各委員会・各部報告
●主な協議事項
一、新年合同礼拝開催の報告・反省と申し送りについて
・最寄り区ごとによる新年合同礼拝が一月十四日(月)に実施され、実績報告を受けた。

二〇一八年度第六回委員会
日時 一月十八日(金)
会場 埼玉新生教会
出席 十一人
主な報告
●地区内の教会・教師の報告
◎辞任(三月)
・上尾合同(代) 木村太郎(正)
・越生 江田めぐみ(正)
◎就任(四月)
・上尾合同 武田真治(正)
●会計報告
十一月十六日から一月十七日分
●各委員会・各部報告
●主な協議事項
一、新年合同礼拝開催の報告・反省と申し送りについて
・最寄り区ごとによる新年合同礼拝が一月十四日(月)に実施され、実績報告を受けた。

三、地区総会について
・議員登録・議案報告書に関する提出書類・被選挙権のない正議員・日程等について確認と手配をした。
二〇一八年度第七回委員会
日時 二月十五日(金)
会場 埼玉新生教会
出席 十人
主な報告
●地区内の教会・教師の報告
◎辞任(三月)
・行田教会 清水与志雄(正)
◎就任(四月)
・行田教会 西川晃允(正)
◎住所変更
・浦和別所教会
新住所…さいたま市南区别所二二二二
●会計報告
一月十八日から二月十四日分
●各委員会・各部報告
●主な協議事項
一、地区総会について
・推薦正議員・推薦准議員の議員登録、陪席要請と傍聴希望、総会奉仕者について承認した。

(火)午後一時より大宮教会で行うことを確認した。
二、教団伝道資金運用について
・次年度以降の新年合同礼拝で使用するプラスチック製聖餐カップを備品として購入したことを承認。
三、諸申請の件
次の申請について承認した。
・埼玉地区伝道支援金申請 行田教会 十六万円
・羽生の森教会 五万円
・本庄旭教会 十万円
・会堂・牧師館建築緊急貸出基金借入申請 武蔵豊岡教会 百万円
四、次回地区委員会予定について
二〇一九年度第一回地区委員会を二〇一九年三月二十一日(木・祝)総会後に行うことを確認した。

●閉会祈祷：小林 眞

編集後記

地区委員会のもとで地区の宣教の業に仕える思いをもって二〇一八年度も委員一人ひとりが編集の奉仕に与り努めました。また、多くの方が原稿依頼に快諾しご協力くださいましたことを心から感謝いたします。(茨木)

教会全体修養会

のご案内

今年の修養会は、これまでの反省(距離・経費など)を踏まえて左記のように決定しましたのでご案内します。

*日時 八月二十六日(月) 二十七日(火)

*会場 国立女性教育会館 (埼玉県・嵐山町)

*主題「主にある交わりを深めよう」

*経費 六千円(一泊二食)

*講師 榎本 史郎先生 (北陸学院大学院長)

講演

①私の信仰 教会の信仰

②生きた医師として用いられ

講師は、現職に就く以前、石川県内の三つの教会で二十七年間伝道牧会の経験があります。ご講演を通して一泊二日、地区内諸教会の良き交わりの時となりますよう、多くのご参加を期待しています。(準備委員長 小林 眞)

●各委員会・各部報告
●主な協議事項
一、地区委員会主催集会等について
①新年合同礼拝について
・今年度は各区毎に開催する。教師委員会に情報の把握と報告を依頼した。
②地区総合協議会について
・日程と会場を再確認した。
③地区総会について
・説教奉仕者の候補選定を三役に委託した。
二、クリスマス・プレゼント(地区互助)について
・隠退教師二十名、総額十数万円で実施することを承認した。
●閉会祈祷 竹内紹一郎

二、諸申請について
・次の申請について承認した。
・教区教会互助「教師謝儀互助」申請
加須教会 九十三万円
秩父教会 八十万円
鳩山伝道所 六十四万円
埼玉地区伝道支援金申請
久喜復活伝道所 四八、九五五円
本庄旭教会 五万円

●各委員会・各部報告
●主な協議事項
一、地区総会について
・推薦正議員・推薦准議員の議員登録、陪席要請と傍聴希望、総会奉仕者について承認した。
・総会議案(委員長報告・宣教計画・予算案)について話し合った。
・事務準備会を三月十九日

婦人部だより

No.37

《「対外献金」の報告》

所沢武蔵野教会 森生 郁代

婦人部活動の一つとして、例年クリスマス時期に婦人部会計より「九教会・伝道所」と「四施設」に、また「アジア学院」と「にじのいえ信愛荘」に献金をお献ぎしています。

伝道に困難を抱える小規模教会・伝道所や、教会を礎とした児童養護施設などを覚えて祈り、献金を献げる活動です。二〇一七年度は、委員五人の任意で、二教会・伝道所と二施設（秩父教会・久喜復活伝道所・光の子どもの家・ホザナ園）をお訪ねしてお献ぎしました。今年度は委員会活動として、総会で認めていただき、三教会・伝道所と二施設（朝霞教会・鳩山伝道所・深谷西島教会・神愛ホーム・久美愛園）をお訪ねしました。

児童養護施設ではキリスト者の職員が少ない中でも、何とか折にふれ、特にクリスマスには教会学校に子どもを導いて

行くなど、教会との関わりを持つ努力をしておられました。

物質的に豊かになった日本

ですが、入所理由として、育児放棄や虐待によるものが増えているとのこと。ひと言交わしただけですが、入所している子どもたちはみな屈託なさそうに見えました。が、きつと言いつ知れぬ寂しさ、悲しさを抱えているはず。「この子どもたちや施設のことを一人でも埼玉地区の教会婦人に覚えて祈ってもらえることが嬉しい。」と、職員は話されました。

クリスマス献金を献げた教会・伝道所についても、地域の特性などで、なかなか伝道の成果が現れないことに苦慮しながらも、「こころの友」を配布するなど、常に地域に働きかけつつ、聖日礼拝をしっかりと守っておられました。

献金の対象としている教会すべてをお訪ねすることは出来ませんが、二年間で五教会・伝道所と四施設をお訪ねしてお話を伺えたことで、婦

人部活動の一端を皆さまにお伝え出来ます。今後とも会員の皆さまには、これら献金先のことを覚えてお祈りください。

地区婦人部は、県内の教会同士、また教会関連施設との「連帯」を目的とする自主活動団体として、これからも時代を見据えた活動を常に模索し続ける必要があると考えます。

(委員長)

全体研修会報告

埼玉通り教会 白川 典子

婦人部研修会は、七月九日（月）午前十時から午後二時三十分まで大宮教会で開催いたしました。

開会礼拝は林美音牧師（埼玉中国語伝道所）にご担当いただき、講演は藤盛勇紀牧師（富士見町教会）に「新しく造られた者として」と題してご講演いただきました。質問も活発に出た講演でした。

今回も事前に参加者に「アンケート」をお渡しして研修会の感想を記入してもらい、終了後に回収しましたのでご紹介いたします。

●先人観と世間体、世のしがらみに凝り固まっている頭に藤盛先生の霊と魂を明確に解き明かしてくださった講

演はしみとおるように心に入ってきました。願わくは、私の内にいてくださる霊が神様の霊をキャッチしてくれて、本当の自分の信仰が霊によって支えられていることに目覚める時を与えてくださいと祈りつつ明日からの日々を大切に歩みたいと思います。

(越谷教会 中村寿美子)

●「正統的信仰とは筋張った肉ぞと理解していません。清く正しく貧弱に見えることを信仰と信じていません。」「ソフトな語り口、だけれどちよつと頭をひねって考えた。「干からびた信仰だと思っていないか？」とのお話に私自身キリスト者とは：と考え始めた。健やかな信仰はみずみずしいとのこと。話はいろいろとぶが：身近なことにふれる。罪の自覚が認識を強調し過ぎるところがある。神の恵みを重点に置く。クリスチャンとしてどう生きるのか天国行きの切符を手に後の行き方が弱いとのこと。

(西川口教会 熊谷芳江)

●ご準備くださった方々に感謝致します。全体の流れはスムーズで良かったと思います。「新しく造られた者とし

て」と題しての講演は興味深く心に迫るものでした。大切な魂と霊の違いなど、今まで考えもしなかったことを分かりやすく話され説得力がありました。藤盛勇紀講師に感謝致します。

(川口教会 寺岡)

紙面の都合ですべての方の感想を掲載することができませんでした。ご了承くださいます。

(書記)

もより婦人会研修会

★第一ブロック

もより婦人研修会に参加して

川口教会 永瀬加代子

十一月十日（土）、六教会・十四名の参加で開催されました。前夜からの雨も上がり、おだやかで暖かい秋の日、神様のお導きと、婦人会の方々の祈りに支えられ無事に、もより婦人研修会を開くことが出来ました。

開会礼拝では、本間一秀牧師より「救いの約束」と題して、御言葉から聞くことが出来ました。その後、川口教会の教会員である寺岡ご夫妻のご子息で、国立武蔵野学院の寮長でもある寺岡牧氏に「児童福祉の最後の砦」と題して講演をして

いただきました。武蔵野学院は
社会で問題等を起こした子ど
もの児童自立支援の施設です。
その中で子どもたちと生活を
共にし、子どもたちに寄り添
い、子どもたちの自立を促す毎
日を送っているそうです。
とても有意義なお話を聞く
ことができました。感謝です。

十 第二ブロック

まことのぶどうの木

東大宮教会 會田 洋子

第二ブロックは六教会・四
四名の参加でした。

ヨハネによる福音書より、ま
ことのぶどうの木をテーマに
当教会の久保島泰牧師に開会
礼拝を、久保島理恵牧師に発
題・交わりをお願いしました。

ぶどうが枝につながり、幹に
なっているように、私たちもイ
エス様につながり、栄養をいた
だき実を結ぶ。どんな実を結び
たいか、グループの中でそれぞ
れが声を出して話し、交流しま
した。最後に、神様が今の自分
に何を望んでいるか、期待して
いらつしやるかを、ぶどうの実
に見立てた紙にそれぞれの気
持ちを書いて、大きな木に貼り
ました。―豊かな実りに感謝し
て―。

の中で、笑い声もたくさんあ
り、楽しく会を進めることがで
きました。主の御名を賛美。
十月十九日(金)に越谷教会
で第三ブロックのより婦人
研修会が開催されました。
礼拝説教「命・つながる・生
きる」、講演「つながる喜び」と
題して、越谷教会の石橋秀雄牧
師より御言葉を読みました。一
伝道所で四十名の出席があり
ました。

十 第二ブロック 爽やかな秋晴れで

越谷教会 清水 泉

午前のみの開催でしたが、講
演後に各教会の婦人会の教勢
報告をいただき、各地で聖書の
学びと女性たちの交わりや工
夫されていることなどお話を
いただきました。平日で幼稚園
の保育もあり会場が礼拝堂の
みでしたが、良い交わりの時を
与えられました。

十 第四ブロック

埼玉中国語伝道所 林 美音

十一月十日(土)午後一時〜
三時三十分、上尾合同教会に
て、七教会・一伝道所から二十
五名参加し開催。開会礼拝は、

「寂しい荒島での雷」と題し
て、林美音牧師が語りました。
講演は、「キリストの弟子と
して生きる―ヨハネによる福
音書に聴く―」と題して、東野
尚志牧師(聖学院教会)が、一
章から二十一章まで、ギリシャ
語の「メネイン」の異なった訳
を取り出して、キリストの弟子
になる、主によって生きること
とは、「主につながり↓主の内
にいつもいて↓主の愛にとど
まり↓互いに愛し合う」こと
で、新しい共同体として、教会
の中で、説教と聖餐を中核にし
て、礼拝を保つことだと教えて
くださいました。

十 第五ブロック

小川教会 島崎 美和

十一月六日(火)、八教会・一
伝道所、三十一名の参加で開催
されました。
靴音高く来られる方。三本足
の方も顔を合わせれば女学
校の同窓会のようにあちこち
で歓声が上がる。

開会礼拝の荘厳な前奏から
始まり、牧師によるカナンの女
の娘のいやしを通して謙虚に
求め続けることを教えられま
した。
講演の「洗足の物語」では、
主をご覧になれば何とトロンチ

ンカンな弟子たち私たちが
あつても心底愛してくださつ
ているという話しをきき、それ
を心から信じる者でありたい
と思いました。
その後地区の婦人部の役員
の方から次期役員を出してほ
しいとのアピールがありまし
た。ちなみに小川教会は学びと
交わりと奉仕を目的として誰
でも参加できる会とし、「ぶど
うの会」と命名し、活動してい
ます。続いて各教会のクリスマ
スコンサートのアピールが目
白押し。

十 第六ブロック

埼玉和光教会 安永 直美

恒例の教会紹介では、また会
えた喜びを共有しました。談話
室でお茶を飲みながらおしゃ
べりがはずみ、ロビーでは東松
山教会のバザーが花を添えて
くださいました。
あいにく帰りは本降りの雨
になってしまいました。なん
のその、楽しい会でした。

第六ブロックもより婦人研
修会が十月九日(火)埼玉和光
教会を会場に八教会・五十四
名の参加者にて開催された。主
題テーマ「キリストの愛に応
え、福音の希望に生きる」と題

し、岩河敏宏牧師より説教をい
ただいた。あらかじめ各教会に
「婦人会活動の現状について」
のアンケートをいただいた報
告のまとめを基に講演をされ
た。懇談会ではテーブルを囲み
忌憚のない活発な意見が出さ
れた。婦人会の主要メンバーは
七十代八十代が多く、高齢化や
仕事を持つ方も増えている現
状に、従来の当り前の活動でい
いのかを今一度考え直してみ
るよい機会となった。

十 第七ブロック

本庄教会 田島美代子

十月二日(火)、本庄教会を会
場に、五教会、三十二名の参加
で開かれました。
当教会は昨年より、正田國磨

「これでええんかい婦人会」
第六ブロックもより婦人研
修会が十月九日(火)埼玉和光
教会を会場に八教会・五十四
名の参加者にて開催された。主
題テーマ「キリストの愛に応
え、福音の希望に生きる」と題
した。
講演の「洗足の物語」では、
主をご覧になれば何とトロンチ

アジア学院学生のための
ホームステイプログラム

アジア学院では、毎年アジア、アフリカの約十五カ国から指導者の立場にある約三十人の方々を迎え、四月～十二月までの九か月間、学院のモットーとする「共に生きること」の実践的カリキュラムの中で国籍・宗教・民族・習慣・価値観等の違いを互いに認め合いながら「仕える指導者」となるための研修に取り組んでいます。そのカリキュラムの中には、来日間もない「日本が初めて」の方々のために、全国教会婦人会連合の働きの一つとして世界教会運動委員会が企画しているホームステイ・プログラムが加えられています。毎年、埼玉地区、東京教区、西東京教区、神奈川教区の教会婦人の協力のもとに四十年余継続して実施し、学生たちにとって日本の家庭を身近に経験する大切な機会となっています。

今年度、埼玉地区では三家庭（山口藜子／大宮、吉崎光子／飯能、高崎和子／所沢みくに）がホストファミリーとして四人の学生（インドネシア、ガーナ、ミャンマー）を迎えてくださいました。六月三日（土）の



前列左から2人目山口姉兄、熊江牧師、クラウディウス牧師

西早稲田のキリスト教会館で開催された歓迎会の後、六月五日（月）までの二泊三日をご家庭、教会での良いお交わりをされた報告をしていただきました。

アジア学院生を迎えて
ホストファミリーの報告

《クラウディウス牧師を迎えて》

大宮教会 山口幸男・黎子

クラウディウス牧師は、伝道の傍ら、農村の生活向上のため、日本の有機農業を学んで広めたいと、両方を励んでおられる姿に感動。

来日しての印象は、町の美しさ。教会を挙げての手厚いおもてなしに感激。西谷美和子姉のドアからドアへのお迎えに始

まり、初日は賛美会との夕食会。翌日はCS礼拝、中高生に分級に出席。メーンの礼拝では聖餐に与り、その後、当教会の熊江秀一牧師も加わり、カレーライスで愛餐会となった。夕刻はわが家で、息子夫婦を交えて食事。嫁は初めて外国人と会話出来たと喜んで、楽しい一時を過ごすことが出来ました。感謝。

《クワベナさんを
お迎えして》

飯能教会 吉崎 光子

六月三日、ガーナからのクワベナさん（ガーナメソジスト教会）をわが家に迎えた。婦人会連合での歓迎会后、和風レストランで娘と三人で夕食。彼はお膳に並べられた和食にご満悦、カメラに収めた。家族のこと、ガーナのことなど話が弾んだ。

翌日礼拝後、集会室でアジア学院のビデオを見て、ミセス木村お手製のカレーで歓迎昼食会。ガーナについての質疑応答等楽しいひと時だった。帰り際「ココニコレテヨカッタデス」と言われ、ホスト冥利に尽きる思いがした。クワベナさんが、ガーナで良き農業指導者になることを期待し、祈っています。



クワベナさんを囲んで

《みな主の家族》

所沢みくに教会 新田 真代

今年も高崎和子さんがホストファミリーとなって迎えられたラーさん（ミャンマー）とジョンさん（ガーナ）の二人と共に毎年恒例となっている子どもの分級、主日礼拝を共に守り、愛餐会をしました。分級では子どもたちには難しい話で



中央、福笑いを楽しむジョンさん

したが、時代が進み便利な物がたくさんある中で、人と人の繋がりと会話が何より大切であるということを通してくださった事が印象的でした。一年に一度の交わりでも教会学校の子どもたちは他国の文化を知ることができたり、日本の遊びを教えてあげたり、神様の前ではみな家族だということを感じられる一日でした。

《二〇一九年度予告》

※地区婦人部総会

* 四月十五日（月）
午前十時～午後〇時

※地区婦人部全体研修会

* 七月一日（月）
午前十時～
午後二時三十分

* 講師 下田尾治郎先生
（敬和学園大学准教授）

◎会場はいつでも大宮教会。

◎七月の研修会は、各自昼食をご持参ください。

◎多くのご参加を期待しています。

